

パートの仲間は手をつなごう！

全労連 パ・臨のなかま NO.31

2012.7.9 発行

全労連TEL03-5842-5611

東京都文京区湯島2-4-4

Eメール part@zenroren.gr.jp

「正規職員に準じたパート賃金引下げ」を撤回させ、 組合員拡大へ

自治労連・静岡市労連病院支部

静岡市立病院のパート職員は、4月19日、病院当局から正規職員に準じてパートの賃金単価を一律0.76%引き下げる提案を受けました。組合では、全てのパート職員を対象に組合説明会を昼休みに開催し、組合加入で病院当局の賃金引き下げ提案を撤回させていこうと訴えました。

パート職員からは、「看護師不足で残業が増えている。患者さんを置き去りにできないので割増賃金をつけないで働いている」「賃金引下げはモチベーションを下げる」「正規の看護師が不足しているなか、パート職員がそのカバーをしている」「賃金引下げは私達を正當に評価していない」など怒りの声が上がりました。

組合は、粘り強い交渉を重ね、4月、5月の賃金単価は引き下げを行わず、6月15日の最終交渉で賃金引き下げを撤回させました。

この間、組合員も4名増え、さらに加



入の取り組みを進めています。(写真は静岡病院総務課長との団体交渉)

働く環境改善～「労組ががんばっているからだよ～」

生協労連・大学生協北海道統一労組・札幌学院大学支部 森富美子さん

11年5月に、5人でパート分会を結成した札幌学院大支部では、この1年、直実に処遇改善を勝ち取ってきました。

半年契約から1年契約に、雇用保険への加入、防寒着の支給、そして就業規則もできあがり、意見書の提出もしました。まだまだ改善しなければならないところはあるのですが、とりあえずきちんと就業規則ができほっとしています。少しずつですが、働く環境も改善されてきています。「労組ががんばっているからだよ～」とさりげなく声を上げていますが、なかなか労組員が増えないのが悩みの種です。労組員同士は、とても和気あいあいと労組活動をおこなっています。厳しい経済、経営状況ではありますが、少しずつ働く場の改善をめざして、みんなで力をあわせてがんばっていこうと思います。

6月19日には、「なんでも相談会」を開催し、さらにパート分会のなかまを増やしていきます。

(「生協のなかま」12/6/1より)

均等待遇の実現めざして ……埼労連非正規労働者部会が総会

埼労連非正規労働者部会 2012年度総会が6月20日(水)午後7時から埼玉教育会館(さいたま市)で開かれ、8組織 22人が参加しました。

市川京子部長(コープネット労組)に続き、埼労連・柴田議長があいさつし、非正規労働者増大のなかで国会では民主・自民・公明が合意すれば、消費税を増税し、障害者自立支援法を障害者総合支援法と名を変えただけの案を強行に採決し、原発も再稼働させる暴走が続いていること、国民の願いを実現する勢力が国会で伸びていくことが大事な情勢となっていることを話しました。

1年間の活動と、「均等待遇の理念と内容を社会的にアピールする」「ILO175号条約や改正パート労働法、有期雇用問題の学習・啓蒙活動」「最賃・公契約の取り組み」「組織強化」などを柱とする今後の運動方針案を市川部長がわかりやすく提案。

コープネット労組、全労連・全国一般埼玉地本、自治労連県本部、埼玉医労連、建交労、埼教組、全労連・埼玉ユニオンなどから、現場で働



く非正規労働者のおかれている状況が本人から直接訴えがあり、合わせて労働組合としての取り組みなどが報告されたので、方針にかみあう豊かな意見交換ができました。

新年度役員 部長：市川京子さん(コープネット労組)、副部長：宮野郁夫さん(埼高教)、藤谷栄一さん(建交労)、事務局：舟橋初恵さん(埼労連)

【各地の取り組み等をお知らせください】